

# まちの話題

## 的確な海難救助活動が

## 表彰されました

このたび、松前救難所(所長・斉藤俊一郎)と所員など9名が第一管区海上保安本部長から表彰されました。

これは、昨年11月に松前港沖で発生した漁船の座礁事故において、迅速かつ的確な救助活動により乗組員2名を無事救助した功績が認められたものです。

表彰状は、2月5日に役場で5名が出席し伝達されました。

表彰された方は、次のとおりです。(敬称略)

- ▽松前救難所
- ▽秋田谷民夫 (弁天)
- ▽工藤 隆一 (弁天)
- ▽敦賀 健一 (弁天)
- ▽山本 光明 (弁天)
- ▽柳岡平悦郎 (大磯)
- ▽寺田 博 (博多)
- ▽長岡 隆 (博多)
- ▽三上 寛明 (博多)
- ▽柴田 悦夫 (月島)

前列右から山本さん、柳岡さん、松前救難所(白川松前支所長)、柴田さん、三上さん



## 文化財を火災から守る

## 龍雲院で放水訓練

1月26日、龍雲院(松城)で有形文化財への防火意識を高めるため、防災放水訓練が行われました。

雲院からの出火を想定し、松前消防署の消防車2台が出動し、消防隊員が放水訓練をして万一の災害に備えました。

これは、昭和24年1月26日に奈良の法隆寺金堂の壁画が失火により焼損したのを契機に定められた「文化財防火デー」に合わせて行われたもので、当日は、龍



## 勝利を目指してボールを追う

## フットサル大会

2月3日、町民体育館で「第14回松前町サッカー協会会長杯フットサル大会」が行われ、中学・高校・社会人合わせて8チーム56名が参加し、熱戦を繰り広げました。

- 優勝 松前高校 (三浦潤也、村上大樹、福原 信、吉田颯太、布川貢大、福井裕一)
- ②チーム教員 (一般)
- ③Windy松前B(一般)
- MVP 福原 信 (松前高校)



## 地元の食材を活かした作品が 並ぶ「農漁村生活展」

1月31日、町民総合センターで「第31回松前町農漁村生活展」が、松前町農漁村生活改善グループ（会長・秋本コウ）の主催で開催されました。

今回の生活展には、漬物、食品加工、おやつ、リフォームの4部門に計98点が展示されました。



また、一般公開には約1

80名が訪れ、工夫をこらした作品に関心を寄せていました。

各部門の優秀賞は次のとおりです。（敬称略）

### 【漬物の部】

『ヤーコンの昆布漬』

館浜班（館浜）

### 【食品加工の部】

『ほっけのあげかまぼこ』

秋本 コウ（館浜）

### 【おやつ部】

『紫イモのスイートポテト』

松谷 和子（館浜）

### 【リフォームの部】

『袋ものいろいろ』

坪 君子（建石）

## 小島地区芸能文化祭

2月3日、小島小学校で「第37回小島地区芸能文化祭」が「老いも若きも心よせ合う文化祭」をテーマに開催されました。

文化祭は、小島地区文化団体協議会（会長・宮本理恵子）が主催し、毎年開催されているもので、芸能発表と作品展示などが行われました。

地域の保育所児童や小学生、婦人会などが出演した芸能発表では、この日のために練習を積み重ねてきた出演者の歌や踊りなどに、約250名の観客が盛んに拍手を送っていました。



## 親として学ぶ〜親学基礎講座

1月26日と2月16日の2日間、松前認定こども園で「親学基礎講座」が開かれました。

今年で3回目となるこの講座は、主に松前認定こども園に通園する保護者が受講しやすいようこども園において2日日程で実施しました。

「親学」は、親とは何か、親に求められることは何かなど、親として学ぶべき大切なことを伝える講座で受講した、約20名は「親として自らが変わらなければ」、「親の心を伝える態度が大切」などを学びました。



## 大島地区春の芸能祭

2月9日、パートナーシップランドで「第33回大島地区春の芸能祭」が大島地区文化団体協議会（会長・中江清隆）の主催で開催されました。

この芸能祭は、毎年、地域の芸能文化を盛り上げようと大島地区の子どもからお年寄りまでが出演し、郷土芸能の江良杵振舞で幕を開け、歌謡や演劇、舞踊、バンド演奏など盛りだくさんの演目に、会場に詰め掛けた約400名の観客は大いに盛り上がっていました。

